

第7期 練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

施策⑥ 自分に合った
住まい・施設の選択と
介護人材対策の推進

参考資料

平成29年7月6日

平成29年4月1日現在の圏域別整備状況

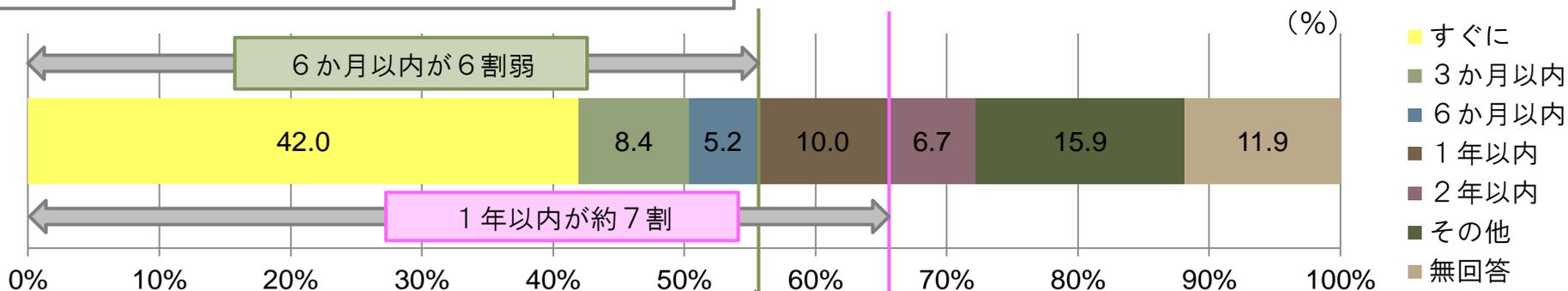
| 施設類型 | 練馬 | 光が丘 | 石神井 | 大泉 | 合計 | 平均 要介護度 | 稼働 率 |
|-----------------------|----------------|--------------|----------------|--------------|----------------|--------------|----------------|
| 特別養護老人ホーム | 3施設 173人 | 7施設 477人 | 6施設 497人 | 11施設 717人 | 27施設 1,864人 | 4.04 | 97.0% |
| 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 3施設 18人 | 9施設 103人 | 7施設 101人 | 14施設 131人 | 33施設 353人 | 3.15 | — |
| 介護老人保健施設 | 2施設 242人 | 5施設 379人 | 3施設 317人 | 4施設 378人 | 14施設 1,316人 | 3.25 | 85.6% |
| 都市型軽費老人ホーム | — | 3施設 60人 | 2施設 40人 | 4施設 70人 | 9施設 170人 | 1.42 | 99.4% |
| 有料老人ホーム | 17施設 1,181人 | 12施設 876人 | 17施設 1,006人 | 12施設 586人 | 58施設 3,649人 | (介護付) 2.7 | (介護付) 82.6% |
| サービス付き 高齢者向け住宅 | 2施設 49戸 | 3施設 151戸 | 3施設 106戸 | 3施設 85戸 | 11施設 391戸 | 1.83 | — |

参考データ

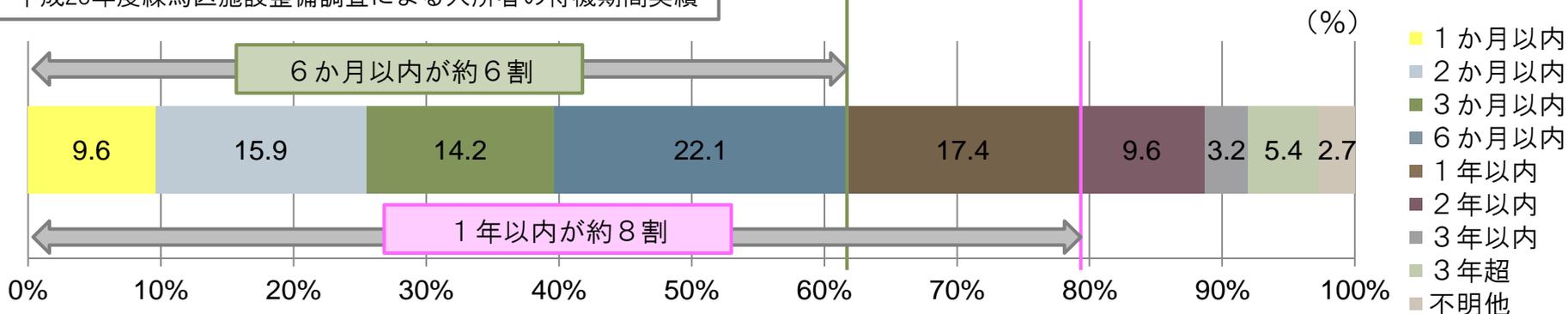
特別養護老人ホーム 待機者の入所希望時期と入所者の待機期間実績との比較

- 平成28年12月1日時点の特養入所待機者1,339人の入所希望時期は、6か月以内が6割弱、1年以内が約7割
- 平成28年1月～12月の1年間に特養へ入所した約400人のうち、
入所申込から6か月以内に入所した方は約6割、1年以内に入所した方は約8割
- 希望する時期に特養へ入所することが可能な環境の整備が進んでいる。

平成28年度練馬区高齢者基礎調査による待機者の入所希望時期



平成28年度練馬区施設整備調査による入所者の待機期間実績

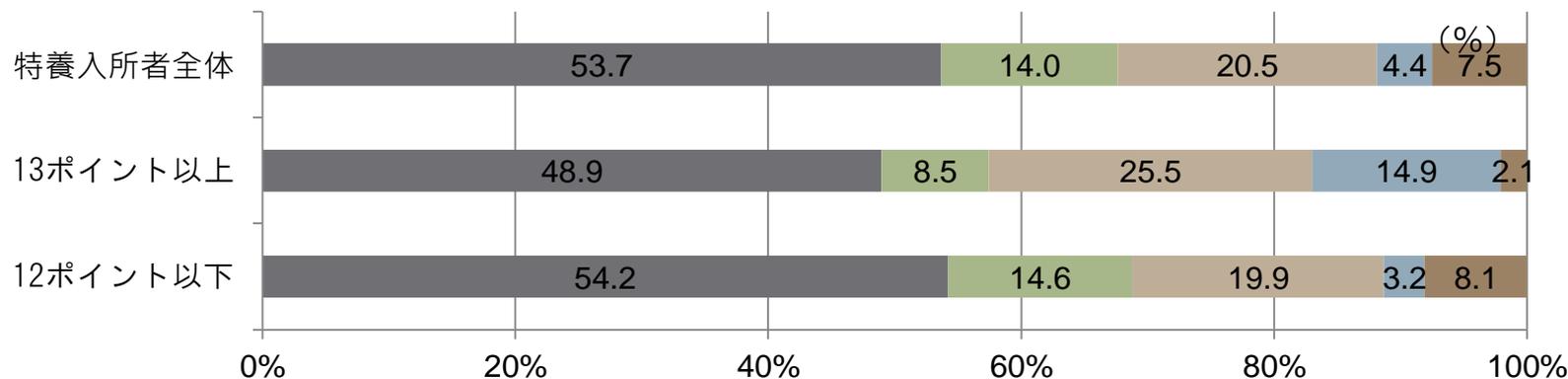


参考データ

申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

- 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が53.7%で最も高く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」(14.0%)とあわせ、入所に積極的な人が7割近くとなっている。
- 「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は2割半ばとなっている。

- すぐに入所する
- 複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する
- すぐには決められない
- まだ自宅で暮らせるため、お断りする
- 無回答

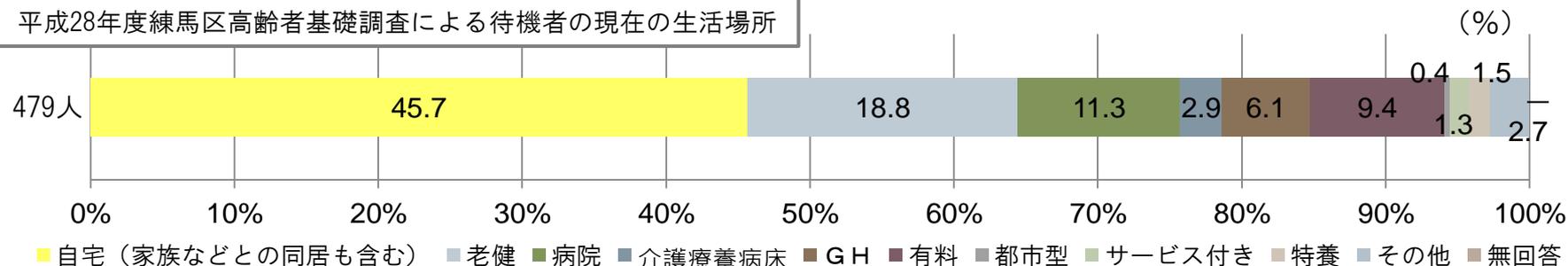


参考データ

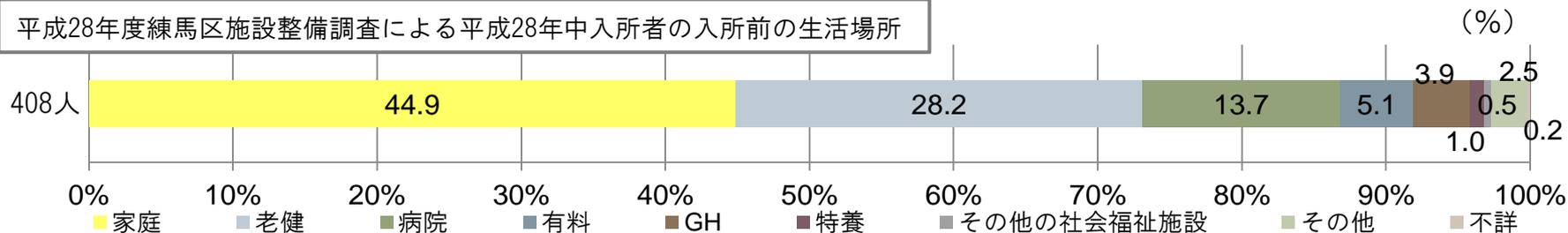
特別養護老人ホーム 待機者と入所者・退所者の状況

- 特養入所待機者の現在の生活場所は、「自宅（家族などとの同居も含む）」が最も高く45.7%となっている。
- 平成28年中の特養入所者の入所前の生活場所も「家庭」が最も高く44.9%となっている。
- 平成28年中の特養退所の理由では、「死亡」が最も高く77.1%となっている。

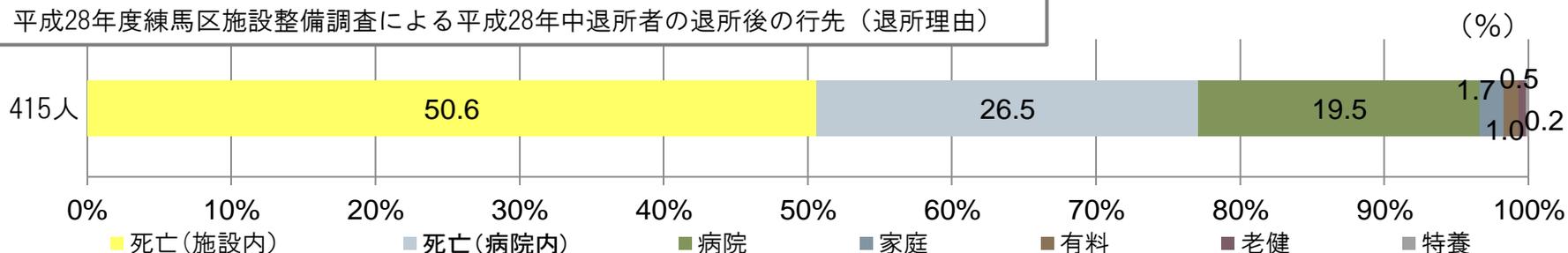
平成28年度練馬区高齢者基礎調査による待機者の現在の生活場所



平成28年度練馬区施設整備調査による平成28年中入所者の入所前の生活場所



平成28年度練馬区施設整備調査による平成28年中退所者の退所後の行先（退所理由）



参考データ

特別養護老人ホーム要介護度別入所者数

○平成26年から平成28年の3か年の平均要介護度は毎年とも4.04

○平成28年12月時点における入所率（入所者数／ベッド数）は97%

※区内27施設中、回答があった26施設の状況

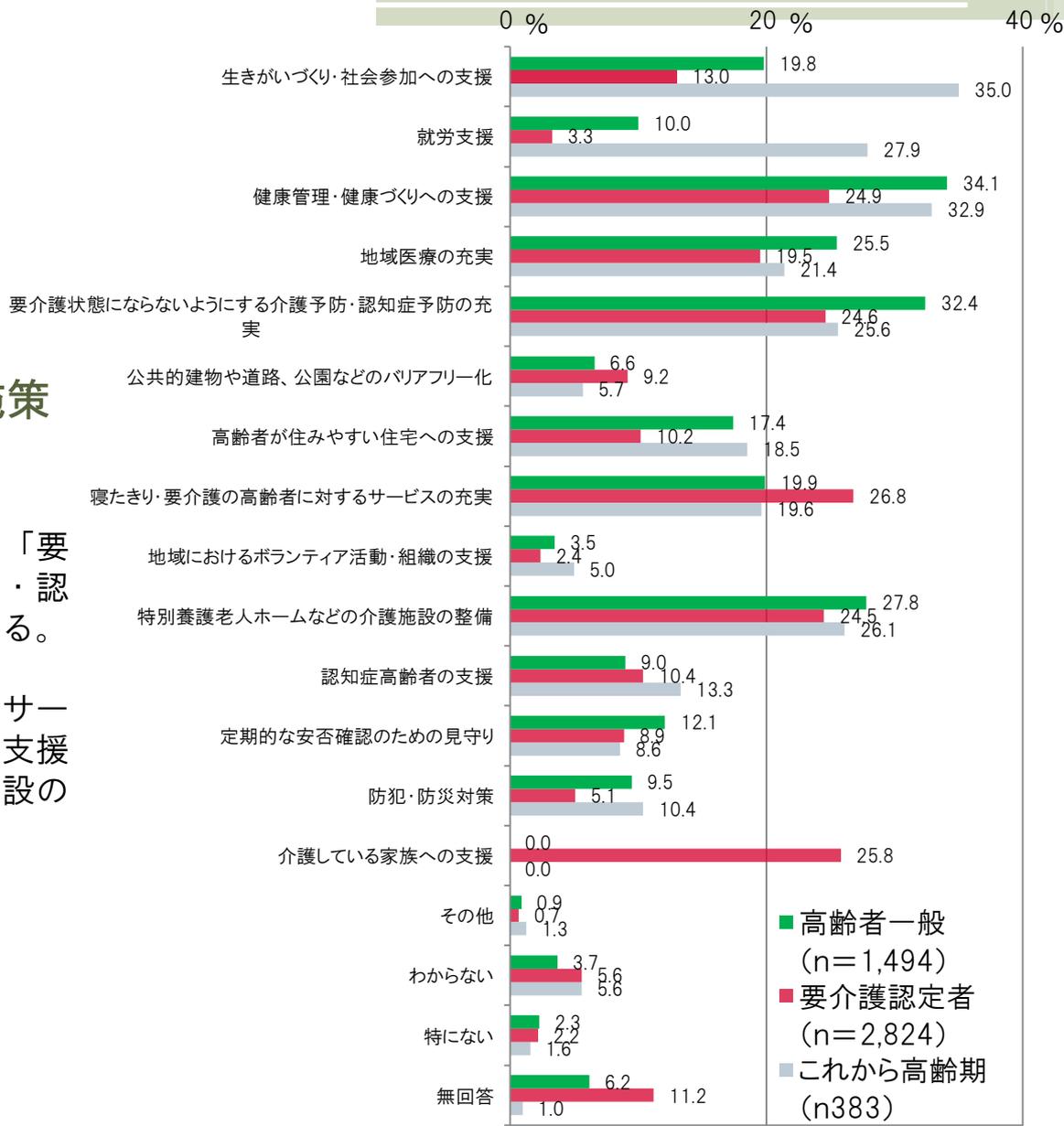


参考データ

今後力を入れてほしい高齢者施策

○「健康管理・健康づくりへの支援」や「要介護状態にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」が上位に挙げられている。

○「寝たきり・要介護の高齢者に対するサービスの充実」、「介護している家族への支援」、「特別養護老人ホームなどの介護施設の整備」などへの期待も大きい。

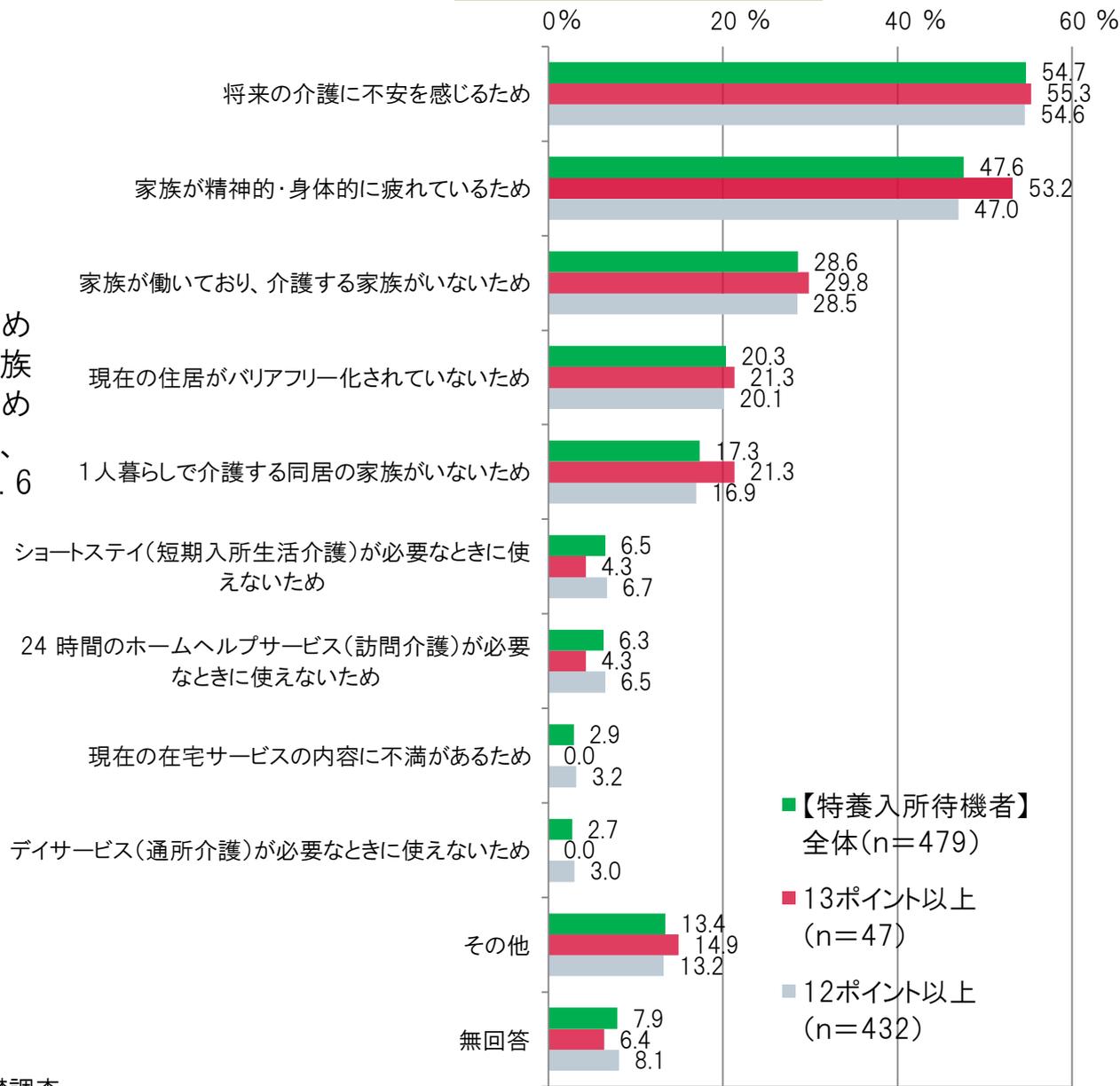


出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

参考データ

特別養護老人ホームを 申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く54.7%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が47.6%、「家族が働いており、介護する家族がないため」が28.6%と続いている。

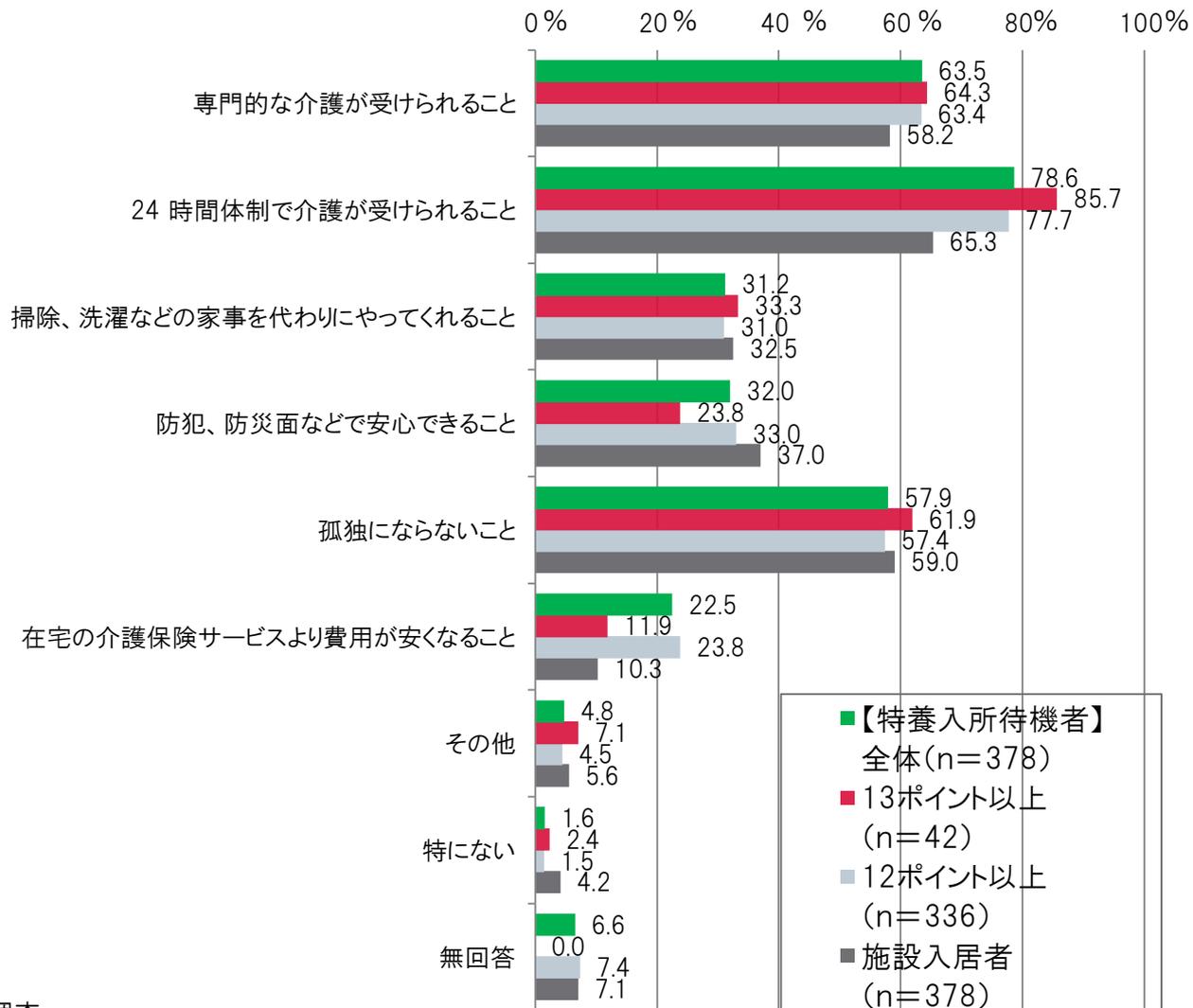


出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

参考データ

家族介護者が施設に期待すること

○主な家族介護者が施設（特養あるいは各入所施設）に期待することは、いずれの調査においても、「24時間体制で介護が受けられること」が最も高い。次いで、「専門的な介護が受けられること」「孤独にならないこと」が挙げられている。



出典：平成28年度練馬区高齢者基礎調査

参考データ

介護老人保健施設要介護度別入所者数

○平成26年から平成28年の3か年の平均要介護度は3.19～3.28

※区内13施設中、回答があった10施設の状況



入所前の住所地

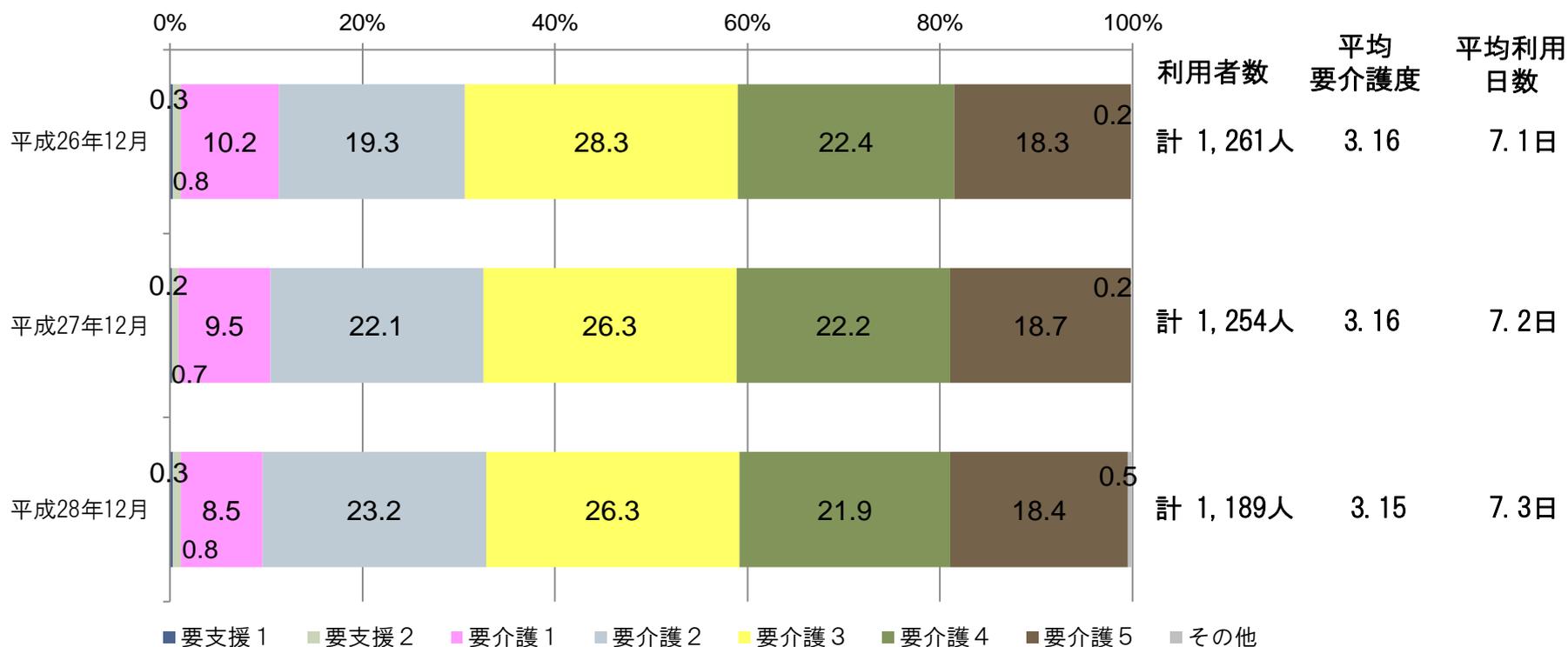
| | 圏域 | | | | 練馬区計 | 都内(23区) | 都内(その他) | 都外 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|------|-----|
| | 練馬 | 光が丘 | 石神井 | 大泉 | | | | | |
| 入所者 | 85 | 132 | 128 | 106 | 451 | 227 | 51 | 36 | 765 |
| | 11.1% | 17.3% | 16.7% | 13.9% | 59.0% | 29.7% | 6.7% | 4.7% | |

参考データ

短期入所生活介護（ショートステイ）要介護度別利用人数

○平成26年から平成28年の3か年の平均要介護度は3.15～3.16

※区内33施設中、回答があった30施設の状況



出典：平成28年度練馬区施設整備調査

参考データ

介護付き有料老人ホーム要介護度別入居者数

※区内51施設中、回答があった28施設の状況



入居前の住所地

| | 圏域 | | | | 練馬区計 | 都内(23区) | 都内(その他) | 都外 | 計 |
|-----|-------|------|-------|------|-------|---------|---------|------|-------|
| | 練馬 | 光が丘 | 石神井 | 大泉 | | | | | |
| 入居者 | 240 | 113 | 155 | 117 | 625 | 642 | 100 | 134 | 1,501 |
| | 16.0% | 7.5% | 10.3% | 7.8% | 41.6% | 42.8% | 6.7% | 8.9% | |

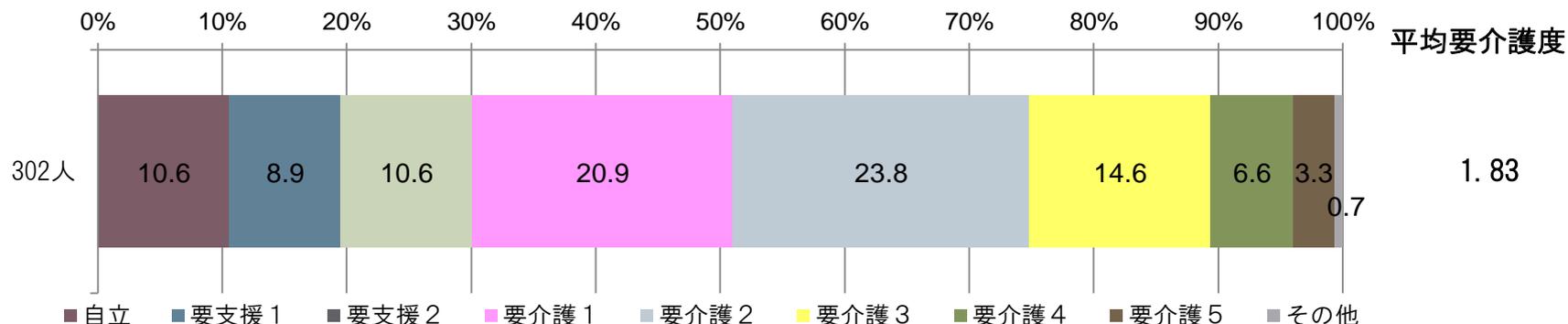
退去の理由（退去後の行先）



参考データ

サービス付き高齢者向け住宅要介護度別入居者数

※区内11施設中、回答があった9施設の状況



入居前の住所地

| | 圏域 | | | | 練馬区計 | 都内 (23区) | 都内 (その他) | 都外 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|------|-------|-------------|-------------|-------|-----|
| | 練馬 | 光が丘 | 石神井 | 大泉 | | | | | |
| 入居者 | 44 | 48 | 31 | 30 | 153 | 76 | 24 | 49 | 302 |
| | 14.6% | 15.9% | 10.3% | 9.9% | 50.7% | 25.2% | 7.9% | 16.2% | |

区政改革計画

取組 7 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくります

(2) 介護サービスを充実します

① 特別養護老人ホームの整備を進めます

練馬区の特別養護老人ホームの施設数は、都内で最多ですが、今後も高齢者人口が増えることから、引き続き整備を進めます。特別養護老人ホームの整備には、用地の確保が大きな課題です。土地所有者に対する土地活用セミナーの実施や公有地の活用などを進めます。

② 介護人材の育成・定着を進めます

介護事業の運営上の課題は、人材確保と育成です。練馬区社会福祉事業団の介護人材育成・研修センターを活用し、離職している介護士や看護師を就業につなげるセミナーや就職面接会を開催するほか、介護従事者のスキルアップに向けた研修を充実します。

また、介護職員の初任者研修受講費用を助成するとともに、介護事業者に対しアドバイザーを派遣して採用活動について助言します。

現在の主な取組

| 事業名 | 事業概要 | 第6期実績 |
|-----------------------------|--|--|
| 1 介護保険施設等の整備 | | |
| 特別養護老人ホームの整備 | 在宅生活が困難な方の地域での生活の継続やご家族の負担を軽減するため、特別養護老人ホーム等を整備 | 2施設（204床）開設（予定） |
| ショートステイ | | 3施設（45床）開設（一部予定） |
| 介護老人保健施設 | | 3施設（236床）開設 |
| 2 介護サービスを支える人材の確保・育成 | | |
| 練馬介護人材育成・研修センター | 練馬区社会福祉事業団の運営する「練馬介護人材育成・研修センター」と連携し、介護サービス従事者向けの研修や相談支援事業を実施 | 実績：実施回数 110回 受講者数（延べ）2,901名 （平成28年度） |
| 資格受講料の助成等 | 介護職員初任者研修料の助成や総合事業訪問型サービス従事者育成研修を実施することにより、介護人材の確保・育成を図る。（詳細は別紙参照） | |
| 3 高齢者が安心して暮らせる住まいの確保 | | |
| 都市型軽費老人ホームの整備 | 身体機能の低下などにより、自立した生活に不安がある低所得の高齢者向け住まいである都市型軽費老人ホームを整備 | 2施設（40人）開設 |
| 住宅改修の支援 | 要介護・要支援の認定を受けている方に加え、認定は受けていないが日常生活動作に何らかの困難がある高齢者に対して住宅改修費を支給 | 利用件数 330件（平成28年度） |

第6期(平成27年度～29年度)計画の整備目標と実績

| 施設類型 | | 26年度末 現況 | 第6期 目標 | 3か年実績 | | | 実績 合計 |
|-----------------------|-----|-------------|-----------|-------|------|-------|----------|
| | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | |
| 特別養護老人ホーム | 施設数 | 27 | — | | | (2) | 2 |
| | 床数 | 1,864 | 340 | | | (204) | 204 |
| 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 施設数 | 32 | — | 1 | | (2) | 3 |
| | 床数 | 332 | 55 | 21 | | (24) | 45 |
| 介護老人保健施設 | 施設数 | 11 | — | 2 | | 1 | 3 |
| | 床数 | 1,080 | 396 | 156 | | 80 | 236 |
| 都市型軽費老人ホーム | 施設数 | 8 | 3 | 1 | | 1 | 2 |
| | 定員 | 150 | 60 | 20 | | 20 | 40 |

* () 書きは、平成29年度に開設予定の施設数

第6期(平成27年度～29年度)期間中に開設した施設

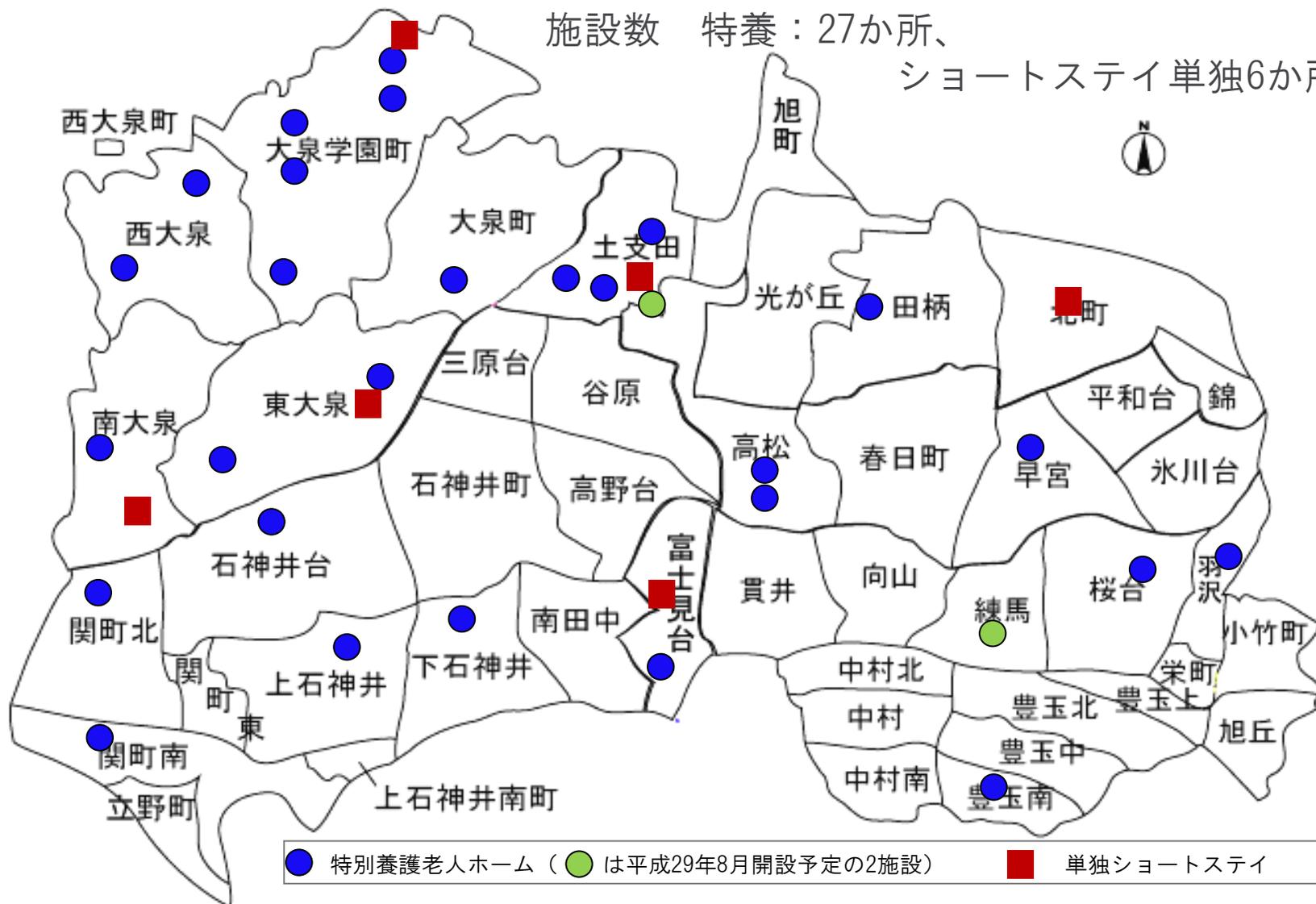
| 施設類型と整備目標 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------------------|---|--------|---|
| 特別養護老人ホーム | | | (仮)練馬の丘キングス・ガーデン (96床) (仮)練馬さくらの杜 (108床) |
| 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 薬師堂ショートステイ (21床) | | (仮)練馬の丘キングス・ガーデン (12床) (仮)練馬さくらの杜 (12床) |
| 介護老人保健施設 | ライフサポートひなた (56床) みんなの笑顔 (100床) | | ライフサポートねりま (80床) |
| 都市型軽費老人ホーム | ほっと・ハウス・仲町 (20人) | | ケアハウス小竹向原 (20人) |

平成29年4月1日現在の整備状況

特別養護老人ホーム

施設数 特養：27か所、

ショートステイ単独6か所



平成29年4月1日現在の整備状況

介護老人保健施設

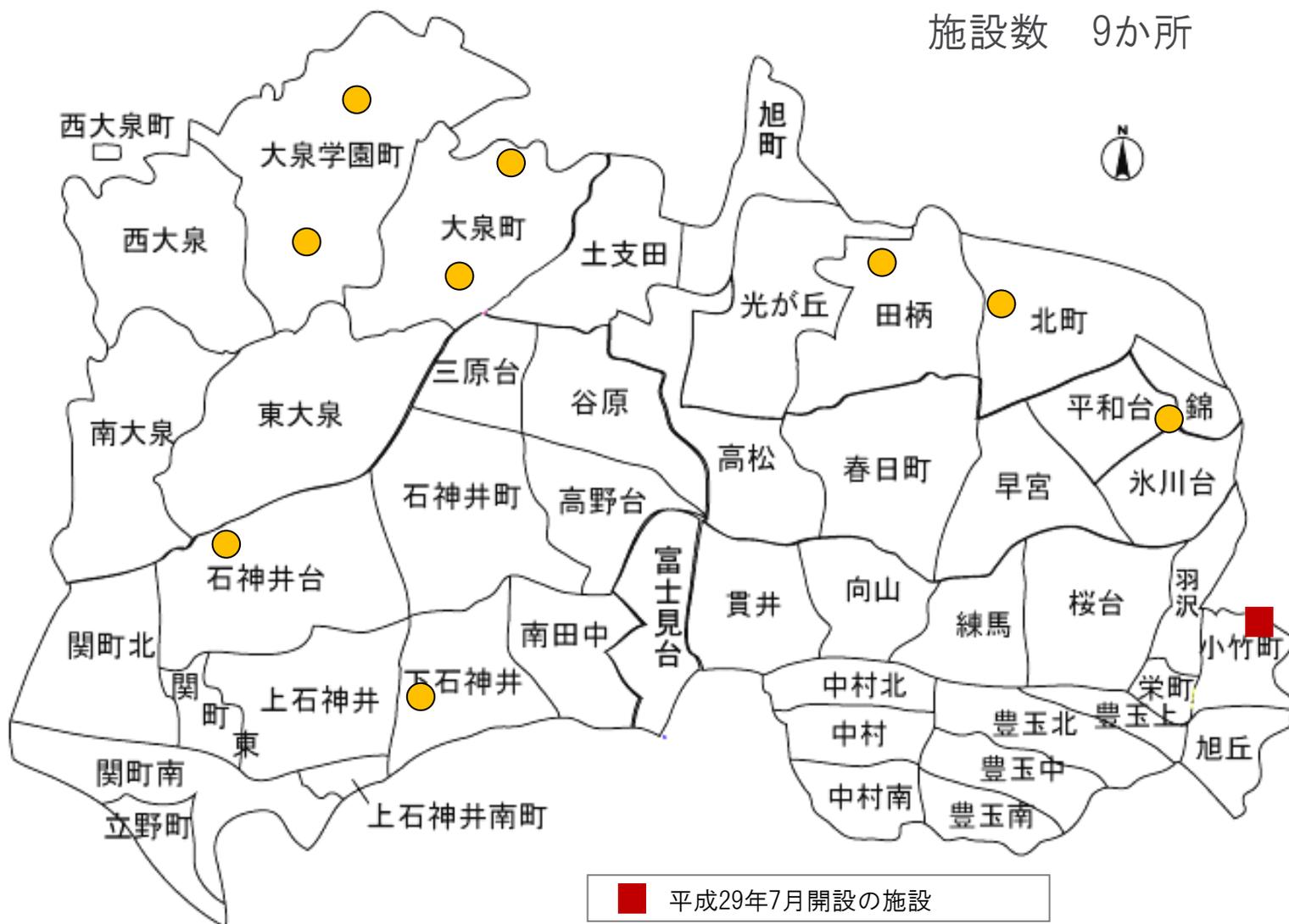
施設数 14か所



平成29年4月1日現在の整備状況

都市型軽費老人ホーム

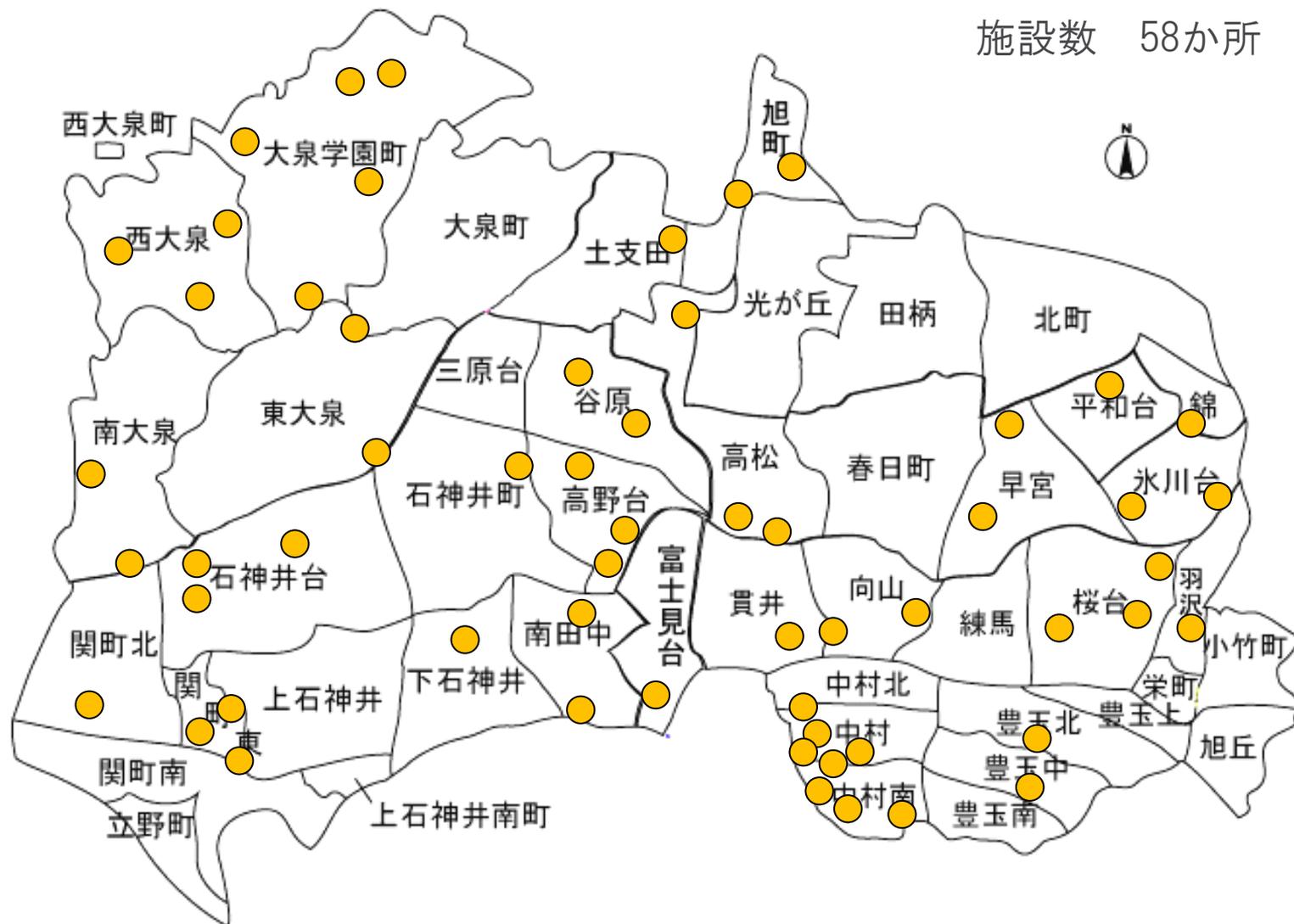
施設数 9か所



平成29年4月1日現在の整備状況

有料老人ホーム

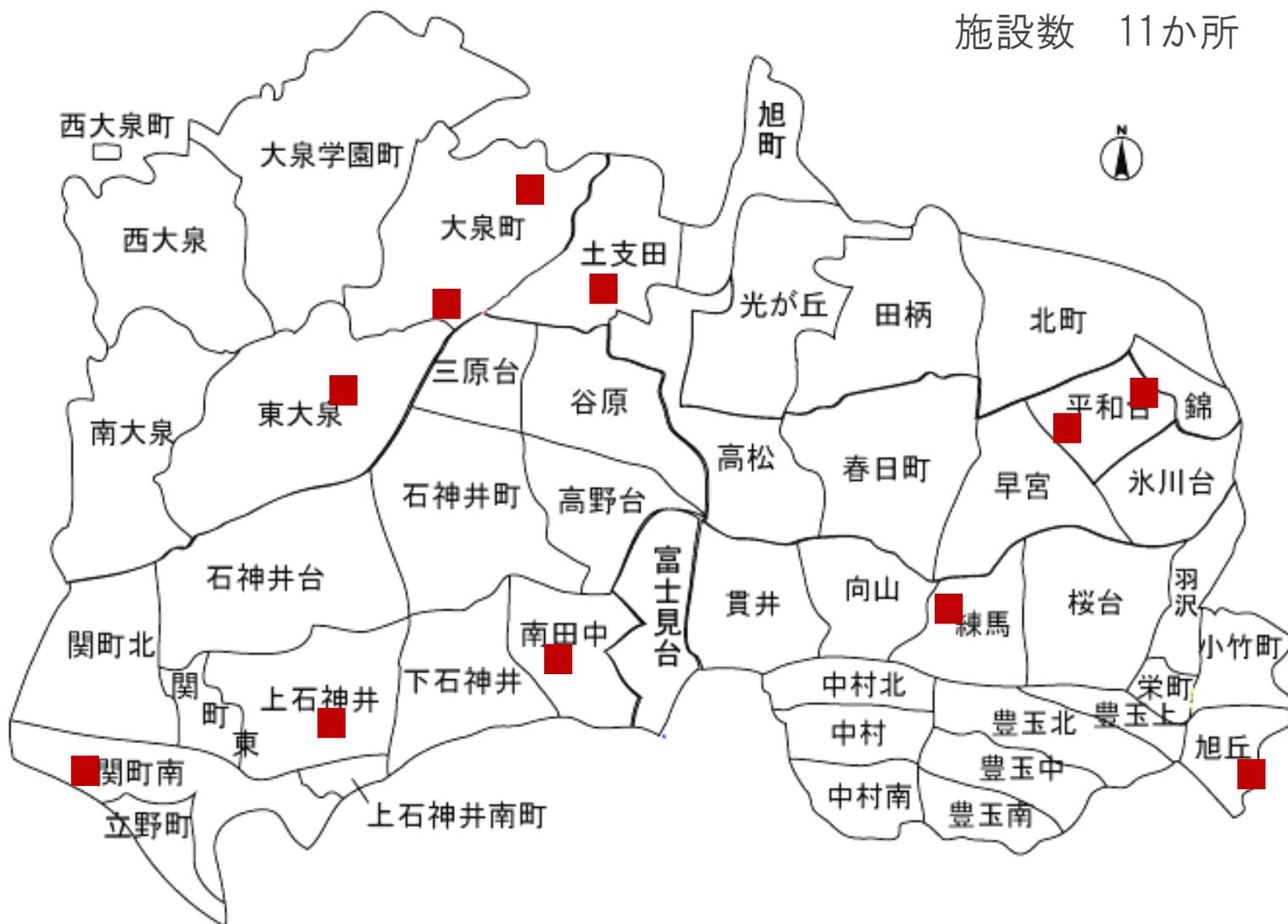
施設数 58か所



平成29年4月1日現在の整備状況

サービス付き高齢者向け住宅

施設数 11か所



練馬介護人材育成・研修センター

- ・ 社会福祉法人練馬区社会福祉事業団が平成21年4月1日から設置・運営
- ・ 区は運営費の一部を補助 平成29年度当初予算 18,500千円

事業内容と実績（平成28年度）

①人材育成事業

- ・ 区内介護サービス事業所の職員を対象に無料で受講ができる研修を実施
 - ・ 目的・対象レベルにより専門研修や熟練者コース等を設定
- ◇ 実績：実施回数 110回 受講者数（延べ）2,901名

②人材確保事業

- ・ 就職面接会やセミナーを開催し、区内介護サービス事業者が新たな介護従事者を確保する機会を提供
- ◇ 実績：実施回数 9回 参加者 367名 採用者 42名

③相談支援事業

- ・ 介護従事者が精神的・身体的な悩み等を相談できる窓口を設置
 - ・ メンタルヘルスに関する講習会を実施
- ◇ 実績：相談件数 274件 講習会参加者数 90名



現在の取組

平成28年度の介護人材確保・育成事業

| No. | 事業名 | 事業概要 | 平成28年度実績 |
|-----|--|--|--|
| 1 | 介護職員初任者研修受講料助成 【予算額 3,200千円】 | 「介護事業所に従事している者」または「介護職への求職者」のうち、資格取得後3か月間、区内の介護事業所に勤務した者に対して、受講料の9割（上限8万円）を助成する。 | 助成21名 |
| 2 | 総合事業訪問サービス 従事者育成研修 【予算額 2,808千円】 | 介護予防・生活支援サービス事業 区独自基準型訪問サービス事業の従事者として活動することを希望する区民等を対象として、必要な知識・技術を習得できるよう研修を実施する。 | 前期 申込231名 修了71名 就職21名 後期 申込200名 修了55名 就職18名 |
| 3 | 求人・採用活動支援 【予算額 4,536千円】 | 専門的な知識を持ったアドバイザーを施設等へ派遣し、採用や求人活動、定着に関する助言を行い支援する。 区内全介護サービス事業所を対象とした人材確保・定着に関するセミナーを実施する。 | ・アドバイザー派遣 25法人 ・集合型セミナー 第1回 32法人 第2回 22法人 |
| 4 | 介護補助機器（介護ロボット） 導入支援 【予算額 13,201千円】 | 区内の介護サービス事業者の介護ロボット購入費を1事業所あたり927千円を上限に助成する。 | 申請事業者 15件 |
| 5 | ケアマネジメント体制強化事業 【予算額 1,417千円】 | 区内の主任介護支援専門員に対して、ケアプラン点検、介護支援専門員地域同行型研修等、介護支援専門員に対する指導力強化のための研修を実施する。 | 開催回数 （延べ）28回 受講者数 （延べ）1,003名 |
| 6 | 介護支援専門員 資格更新研修費助成 【予算額 822千円】 | 介護支援専門員の資格更新研修の受講料の一部（9,400円または7,700円※）を助成する。 ※受講科目により異なる。 | 申請者 62名 |

現在の取組

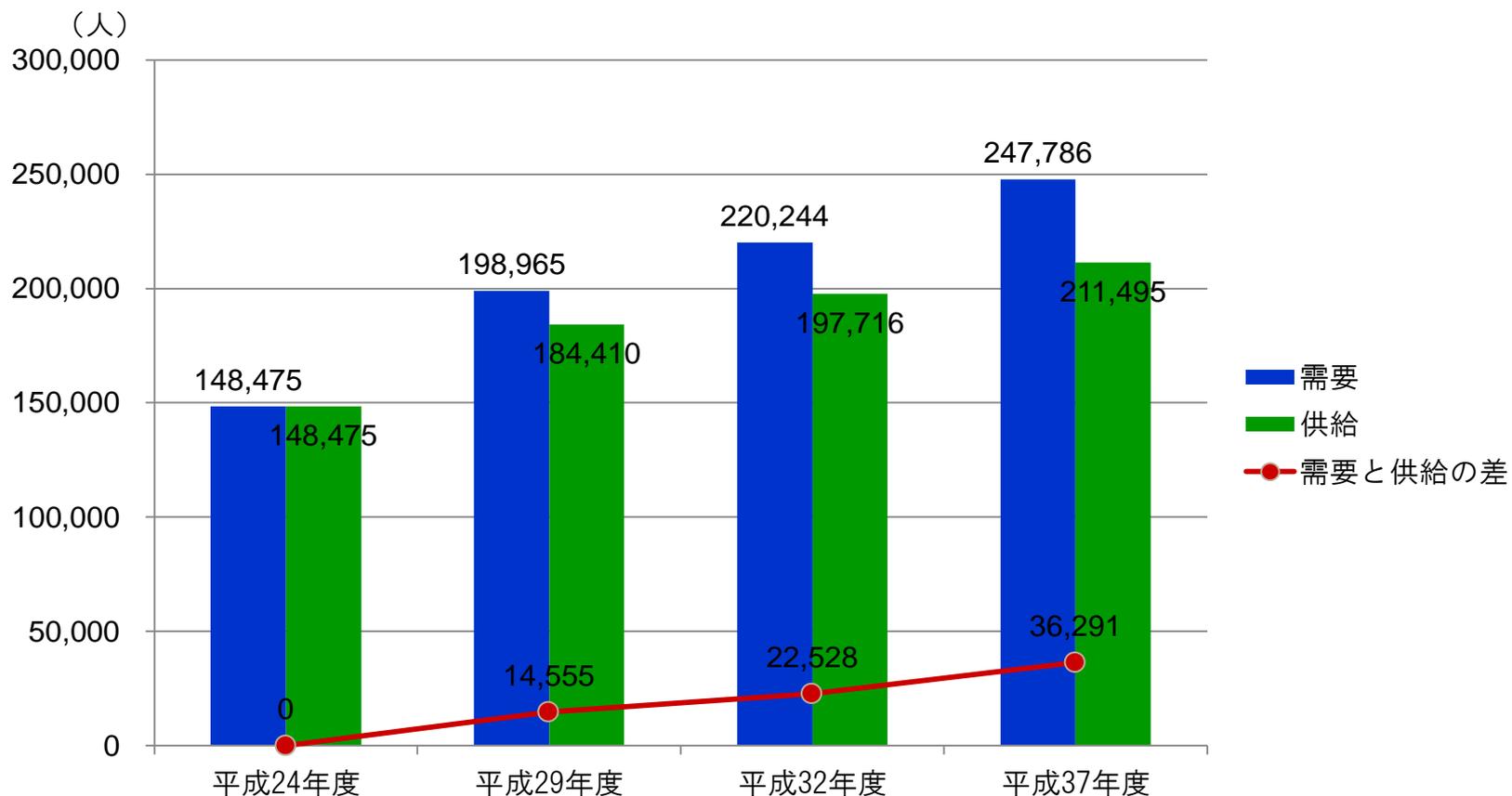
平成29年度に実施する新たな介護人材確保・育成事業

| No. | 事業名 | 事業概要 |
|-----|--------------------------------------|--|
| 1 | 介護職員実務者研修受講料助成 【予算額 4,000千円】 | 介護職員実務者研修修了後、3か月以内に区内介護事業所に介護職員として就労し、かつ3か月間、区内介護事業所において勤務を継続している者に対して、受講費用の9割（上限10万円）を助成する。 |
| 2 | 介護支援用具導入支援事業 【予算額 2,981千円】 | 特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど区内150施設に対して、介護従事者の負担を軽減する介護支援用具（腰部サポートウェア）を配布する。 |
| 3 | 主任介護支援専門員資格更新研修費補助 【予算額 252千円】 | 区内介護事業所に主任介護支援専門員として勤務する者で、主任介護支援専門員の更新を行うための資格更新研修を受講した者に対して、受講費用の一部（8,400円）を助成する。 |
| 4 | 元気高齢者による介護施設業務補助事業 【予算額 10,000千円】 | 区内特別養護老人ホーム全施設での軽作業（清掃、洗濯など）の担い手として、シルバー人材センター会員を活用し、元気高齢者の活躍の場を新たに創出する。 |

参考データ

介護職員の需要・供給推計結果の比較（東京都）

○平成37年度には、約3万6千人の介護職員の不足が見込まれている。



参考データ

EPA（経済連携協定）に基づく外国人介護人材の活用状況

- 「既に活用済みである」は1.8%、「今後、活用予定である」は1.7%となっている。
- 「活用に向けて検討中である」は4.5%、「関心はあるが、具体的な検討はしていない」は20.2%となっている。
- 「活用の予定はない」は22.7%、「わからない」は23.9%となっている。

